

ツキノワグマとの遭遇を避けるために

山梨県内の山にはツキノワグマが棲んでいます

ツキノワグマは大型の動物ですが、本来おとなしい動物で、刺激しない限り、一方的に攻撃してくることはほとんどないと言われています。しかし、人と突然出会った時には、驚いて攻撃してくることもあります。クマは力が強く、鋭い爪を持っているので、人の力では歯が立ちません。まずは、少しでも出会わないですむような心がけをすることが大切です。

クマに出会わないために

登山、山菜採り等のレジャーで入山する方へ

山奥や山林内に入る場合は、ツキノワグマの生息領域でもあることを意識して行動しましょう。また、事前に県あるいは市町村からツキノワグマの出没情報を入手するとともに、現地では出没があったことを示す看板等にも留意する必要があります。

1. 一般的によく知られている、比較的通行者の多い登山道等を利用し、安易にそれらの道から外れて行動することは控えましょう。
2. ツキノワグマの存在を知らせる形跡(足跡、糞、熊棚等)があった場合は、辺りに注意して引き返しましょう。
3. 春先から秋までは採食行動が活発で、かつ子連れで気が立っている親グマもいます。子グマを見つけた場合は付近に親グマがいる可能性が高いので、速やかにその場を離れましょう。
4. 食品を持ち込む際は、それがツキノワグマを誘引するおそれがあることを認識してきちんと管理するとともに、ゴミは必ず持ち帰りましょう。
5. 朝夕や霧が出ているときの入山はできるだけ避けましょう。
6. 鈴、笛、ラジオなど音のするものを身につけ、人間の存在を常に知らせるようにしましょう。ただし、鈴の場合、移動しないときは音が鳴らないので注意が必要です。
7. 山菜採り等をされる方は、採集に夢中になって奥に分け入ったり周囲への注意力がなくなったりと、ツキノワグマとの遭遇の危険性を高めるおそれがあるので注意しましょう。また、笹等で見通しが利かないところでの採集も控えましょう。
8. 溪流釣りをされる方は、水音で人もツキノワグマも双方が接近に気付かない場合があります。周囲への注意力を持って釣りをするよう心懸けてください。
9. 万一の遭遇に備えてクマ除けスプレーを携行する場合、使用環境によっては効果を十分に発揮できない場合があるので、注意が必要です。

クマ棚はツキノワグマが樹木の上の実を食べる過程で作られる。枝がひねり折られ棚のようになっている。



遭遇してしまった場合

遭遇時に被害を回避するための万全の方法はありません。あくまで、遭遇を予防することを日頃から十分に心懸けてください。

1. あわてず、急な動作をせずに静かにその場を立ち去りましょう。
2. 大声で叫んだり、石や棒を投げることはクマを興奮させるだけです。
3. 近距離で遭遇した場合は、騒いだりして刺激せずに、ゆっくりとツキノワグマを見つつ後退していきましょう。背を見せて走り出すと、ツキノワグマが襲う姿勢を取る可能性があります。
4. 子グマはかわいいけれど、そばには必ず親グマがいるので、とても危険です。

危険なクマをつくらないために

1. 残飯や空き缶などのゴミがクマを引きつける原因となります。残飯などの味を覚えたクマは、キャンプ場や人家に近づくようになってしまいます。残飯などの管理をしっかりしましょう。
2. 山際の果樹園などで、放置された果物もクマを引きつけます。できるだけ片付けましょう。
3. 人のちょっとした心がけでクマの有害駆除を減らすことができます。

廃棄された柿の実。適切に処理しないとツキノワグマ等を誘引するおそれがある。



(左) 早い時期に柿の実を収穫する。樹高があり収穫が困難な場合は、上方の幹や枝を取り除き収穫できる高さにしておくと良い。

(右) ツキノワグマを誘引するおそれが高いため柿の木を伐採した。

